

みんなで
つくろう!

とっどりの“学び”

中学校
生徒・保護者用

－平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査から－

このリーフレットは、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果の分析をもとに、鳥取県の子どもたちの学ぶ力をさらに伸ばし夢や目標に向かって進んでいくため、また、子どもたちのすこやかな成長のために大切だと思われる内容をまとめたものです。たくましく夢をもって自立できる子どもを育てるため、家庭・地域と学校が連携・協力して子どもたちのすこやかな育ちと学びを支えていきましょう。

★鳥取の子どもたちのよいところ★

人の役に立つ人間
になりたいと思いますか



95.3%
(94.3%)

ものごとを最後までやり遂げて、
うれしかったことがありますか



94.4%
(93.9%)

難しいことでも、失敗を
恐れないで挑戦していますか。



72.3%
(70.3%)

学級みんなで話し合っ
て決めたことなどに協
力して取り組み、うれ
しかったことがあります
か。



84.6%
(82.8%)



生徒質問紙で肯定的な回答の割合が全国平均よりも高かったもの(抜粋)

<対象：中学校3年生>
()は全国平均

すこやかな“とりっこ”の育ちと学びを共に

4つの
ポイント

生活習慣を
身につけよう

生きる力を
育てよう

夢を
育てよう

広い心で
受けとめよう

鳥取県教育委員会

たくましく・夢をもって・自立できる子を育てる4つのポイント

- 『学校』(P2) 生きる力 学びの、その先へ
- 『学校』(P3) 平成31年度（令和元年度）教科の学力状況
- 『学校』(P4) みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう さらに伸びていくための学びの秘訣
- 『家庭』(P5・6) 子どもと向き合うとっどりの家庭教育
- 『地域』(P7) コミュニティ・スクール「地域とともにある学校づくり」
- 『家庭』(P8) いきいき生活リズム(家庭での様子についてチェックしてみましょう)

もくじ



鳥取県教育振興基本計画へ
GO!

生きる力 学びの、その先へ

自ら課題を見付け、自ら考え、判断して行動できる子どもを育てましょう！

学習指導要領が「学習指導要領」とは？ 変わります



全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られます。

小学校：令和2年度～
中学校：令和3年度～

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。令和2年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

「生きる力」を育むために

子どもたちの学びはどう進化するの？

主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメント を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性など



実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力など

学校

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく育みます。**

学びはつながっています! 高大接続改革

大学入試が大きく変わります!

現在、文部科学省では、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革(「高大接続改革」)を進めています。その一環として、大学入試における「センター試験」が「大学入学共通テスト」へと大きく変わります。

これからは、「知識の丸暗記」ではなく、授業で得た知識・技能をしつかりと活用しながら学習を進めていくこと、家庭でも自ら進んで応用問題に挑戦したり興味のあることをさらに詳しく調べたりするなど、意欲的に学習に取り組むことがますます大切になります。



文部科学省
高大接続改革へGO!



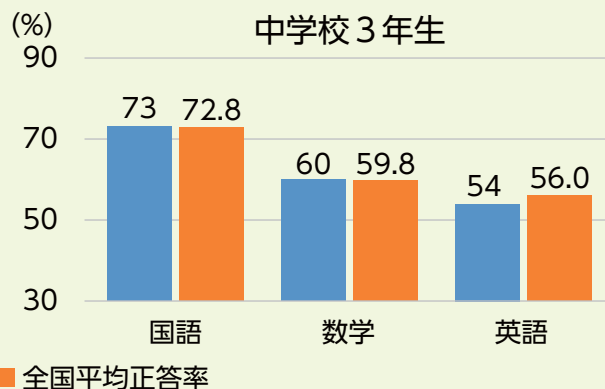
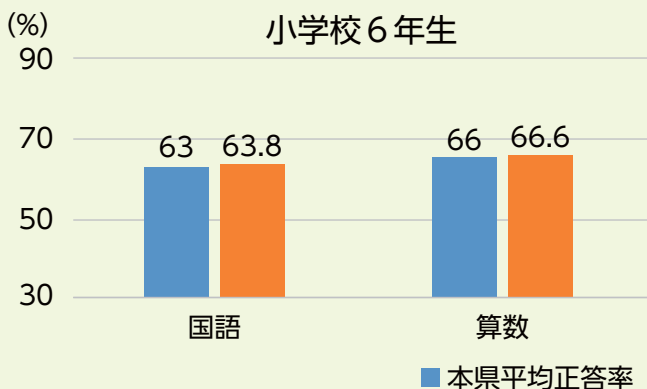
大学入試の変更を見据えて、高校入試も変わってきています。また、全ての県立高校では、「思考力・判断力・表現力」や英語4技能を身に付けるための対応等新たな取組を進めています。

平成31年度(令和元年度) 教科の学力状況



子どもたちが生きていくこれからの社会では、「何を理解しているか、何ができるか」ということだけでなく、「身に付けた知識や技能をどう活用するか」が大切になってきます。各教科の学習では、教科の知識や技能だけでなく、それらを活用する思考力、判断力、表現力等を育成することが求められています。それにともなって、本年度の全国学力・学習状況調査においては、前年度のA問題(知識)、B問題(活用)という区分をなくし、知識・活用を一体的に問う構成になりました。また、本年度は初めて英語の「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の4領域について調査が実施されましたが、結果公表は「話すこと」を除く3領域の集計となります。英語については、今後3年に1回の実施予定です。

国語、数学ともに、全国平均と大きな差はみられませんでした。英語は全国平均を2ポイント下回る結果となりました。国語では「根拠を明確にして自分の考えを持つ」問題、数学では「事柄が成り立つ理由を説明する」問題、英語では「与えられた情報に基づいて、説明する英文を書く」問題に課題があることがわかりました。



鳥取県教育委員会事務局
小中学校課ホームページへGO!

「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちの学びについてどんな力が身に付き、どこに課題があるのかを調査し、子どもたちの力をさらに伸ばすための取組に生かすものです。家庭、地域、学校で連携しながら、鳥取の子どもたちが、変化の大きいこれからの社会で、様々な人と共に、自分らしく生きていく力を伸ばしていきましょう。



中学校
3年生

質問紙回答からわかる 鳥取県の子どもの学びの姿



※数字は鳥取県の子どもの肯定的な回答のパーセンテージ。()は全国。

教科に関する質問事項	国語	数学	英語
授業の内容はよく分かりますか	78.4 (77.6)	71.2 (73.9)	65.5 (66.0)
解答時間は十分でしたか	90.4 (90.3)	83.6 (84.7)	61.3 (63.0)
勉強は大切だと思いますか	91.7 (91.0)	85.8 (84.2)	84.5 (85.4)
授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.7 (88.0)	79.3 (76.2)	84.1 (85.4)

その他の学習に関する質問事項	下線部：全国との差
学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	78.0 (72.8) <u>+5.2</u>
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	72.7 (65.6) <u>+7.1</u>
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている	75.6 (71.6) <u>+4.0</u>
1,2年生の時に受けた英語の授業について、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	79.4 (74.6) <u>+4.8</u>



教科によって、授業でつまづいている人がいるなあ。学習が大切だとか、将来役に立つと感じている人が多いよ。

生徒同士の話し合いや学び合いがうまくいっている感じがするよ。それぞれの教科で身に付けた力を、他教科や普段の生活にどんどんつなげられるといいね。





～学校で学んだことが、明日、そして『学校での学び』と『家庭での学び』

みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう

さらに伸びていくための

学びの秘訣

めあてを持って学習に取り組もう

よく考え、考えたことを伝え合おう

自分の学習を振り返ろう

全国学力・学習状況調査結果から見える課題

国語

- ◆文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、書き手の目的や意図を考えたり、その効果を考えたりすること。
- ◆封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くこと。

英語

- ◆情報を正確に読み取ったり、概要や要点を読み取ったり聞き取ったりすること。

数学

- ◆証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を指摘したり、根拠を明確にして説明したりすること。
- ◆無回答率が全国に比べて高い状況にあること。

効果的な授業改善を進めるためには、新しい時代に向けて求められる学力が変わってきていることを教師が理解し、それに基づいた授業改善をしなければなりません。学校では、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善に取り組んでいます。

学校は、「さらに伸びていくための学びの秘訣」を大切にしながら、授業改善に取り組めます

学校

1単位時間または単元全体をとって完結する授業

授業改善

子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくり



めあての提示

本時のねらいに対応した「めあて」(生徒から見たゴールの姿)を設定します。

評価場面の設定

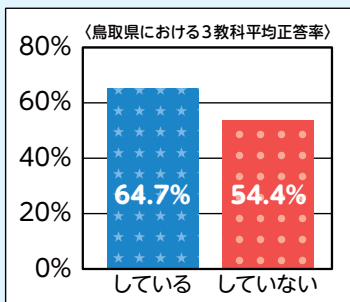
具体的な評価規準に基づいて評価場面を設定し、生徒が「おおむね満足できる状況」に到達しているか把握し、到達させるための手立てを講じます。(習熟度に応じた支援の充実を目指します。)

振り返りの実施

子どもたちに学びの成果を実感させ、学んだことや意欲・問題意識等を次の学習につなげられるように視点を設けた「振り返り」を行います。

学校

授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか



10.3ポイント差

家庭

家庭でできることをやってみませんか

生徒質問紙の以下の項目で、肯定的な回答をした生徒のほうが、3教科平均正答率が高い傾向がみられました。

- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- 読書は好きですか
- 新聞を読んでいますか(週に1回以上)
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



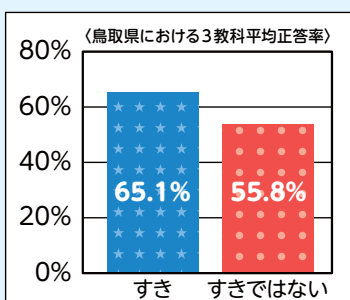
※3教科平均正答率とは・・・

ポイント差:(例)4.7%

「(どちらかといえば)している」と回答した生徒の国語と数学と英語の正答率の平均 → (例)64.7%

「(どちらかといえば)していない」と回答した生徒の国語と数学と英語の正答率の平均 → (例)60.0%

読書は好きですか

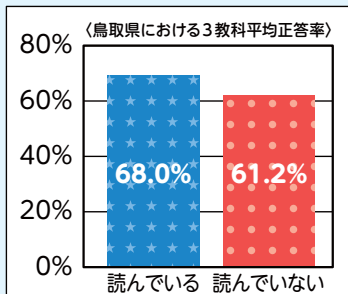


9.3ポイント差

言葉のキャッチボールをしながら、子どもの心と言葉を育み、夢を育てましょう。

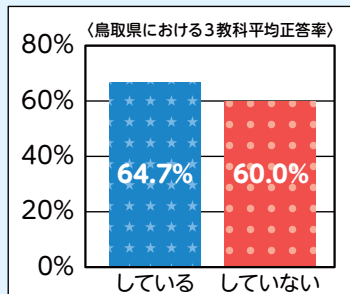


新聞を読んでいますか(週に1回以上)



6.8ポイント差

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



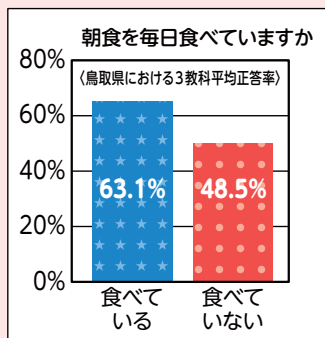
4.7ポイント差

未来につながる とっとりの教育 ～



『学び』を、つなぐことが大切です

しっかり朝食を食べよう



毎日、朝食を食べたり、決まった時刻に寝たり起きたりするなどの基本的な生活習慣の定着は、3教科平均正答率に大きな関係がありそうです。

14.6ポイント差

『家庭は心のねっこになる』

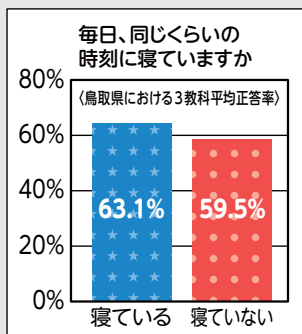
生活習慣を身につけよう



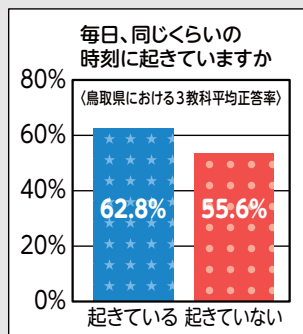
- ◆ 早寝早起きで生活リズムをつくりましょう
- ◆ 朝食をしっかり食べましょう
- ◆ メディア使用にルールを作りましょう

- ◆ 成長期を迎える思春期は、成長ホルモンの分泌を促すためにも小学校高学年で9～10時間、中学生でも8.5～9.5時間の睡眠時間が必要です。
- ◆ 朝食は一日のエネルギーの源です。毎日決まった時刻に起き、朝食を食べる習慣づくりを心がけましょう。
- ◆ ゲームやインターネットの長時間利用は、学習、生活、人間関係などへの様々な影響が危惧されます。安全で上手な利用の仕方について親子で話し合い、家庭でのルールを決めましょう。親も、情報モラルについて学びましょう。

たっぷり寝よう

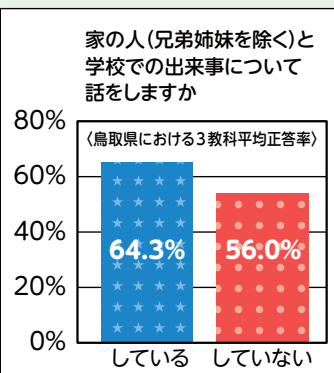


3.6ポイント差



7.2ポイント差

親子で会話をしよう



「家の人と学校での出来事について話をしている」と肯定的に回答をした生徒のほうが、3教科平均正答率が高い傾向がみられました。

8.3ポイント差

夢を育てよう

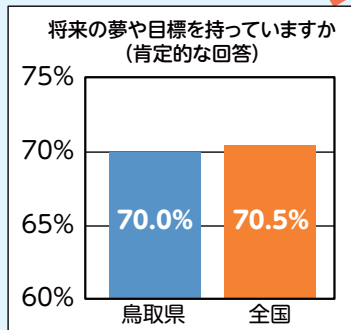


- ◆ 一緒に夢を語り合きましょう
- ◆ 様々な体験をさせましょう

- ◆ 親自身の経験を伝える機会をもち、将来、子どもがどのように生きていくのか一緒に考えてみましょう。
- ◆ ボランティアや地域行事、様々な方とふれあう時間からは社会性や自主性、思いやりなど学ぶことがたくさんあります。親も一緒に考え、ともに学んでいく姿勢をもって、積極的に参加し、子どもの成長を応援しましょう。

さらに伸ばしたいところ

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的な回答をした鳥取県生徒数の割合は、全国平均を少し下回る結果となりました。



地域

地域とつながり、社会の一員としての自覚を高めましょう!

今住んでいる地域の行事に参加している生徒は、全国平均を8.0%上回っています。



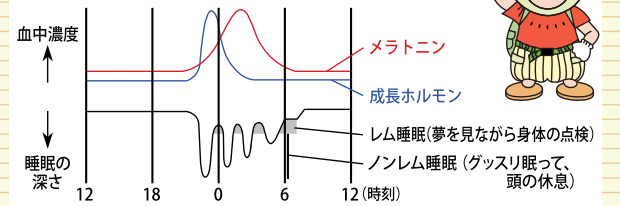


生活リズムについて考えてみよう!

朝は外の光を入れ、夜は暗くする

「メラトニン」は、朝目覚めてから14~16時間して、夜暗くなると分泌される眠りを誘う睡眠ホルモンの一種です。夜に明るいとこで過ごしていると、分泌されにくくなります。また、思春期のころまで第二性徴(性的な成熟)を抑えるはたらきもあります。

「成長ホルモン」は体の成長や代謝をコントロールするはたらきがあります。眠りについた最初の深い眠りの状態の時に多く分泌されます。(夜更かしで分泌が低下するわけではありません。)大人にとっても疲労を回復させ健康を保つ上で不可欠なホルモンです。



● 神山潤公式サイト <http://www.j-kohyama.jp>

~ 子どもと向き合うとっりの家庭教育 ~ たくましく・夢をもって・自立できる子

生きる力を育てよう



- ◆ あいさつを交わしましょう
- ◆ ルールやマナーの手本を示しましょう
- ◆ 家族の一員としての役割を与えましょう

- ◆ 「おはよう」「いただきます」「おかえりなさい」等あいさつは大人から声をかけながらコミュニケーションの大切さを伝えましょう。
- ◆ 子どもはルールやマナーを身近な大人から学び、自分で判断し行動するようになります。大人は、子どものよい手本となりましょう。
- ◆ 家庭の仕事を任せましょう。感謝を伝え、子どもの成長に応じた責任と自立を促しましょう。

広い心で受けとめよう

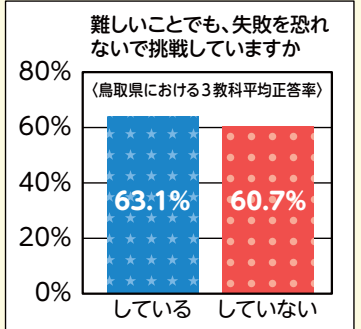


- ◆ 会話を増やし家族のきずなを深めましょう
- ◆ 子どもの力を信じましょう

- ◆ 一緒に食事をしたり会話をしたりなど家族のつながりを感じられる時間が大切です。話をじっくりと聞き、深い関心を向けていることを伝えましょう。
- ◆ 子どものできる力を信じて、むやみな干渉や説教はできるだけ控え、見守るゆとりを持ちましょう。

失敗を恐れなくて挑戦しよう

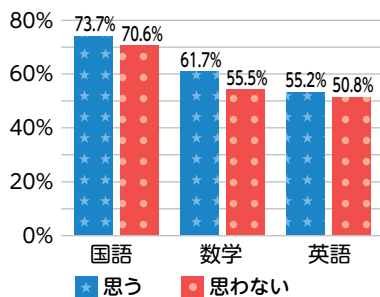
肯定的な回答をした生徒のほうが、3教科平均正答率が高い傾向がみられました。



2.4ポイント差

しっかりほめよう

自分には、よいところがあると思いますか



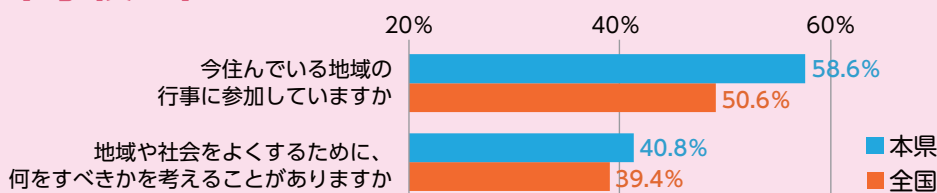
肯定的な回答をした生徒のほうが、3教科平均正答率が高い傾向がみられました。

国語:3.1ポイント差

数学:6.2ポイント差

英語:4.4ポイント差

中学校3年生 (肯定的回答の割合)



「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」といった地域や社会に参画していく意識についても全国平均に比べて高くなっていますが、子どもたちが地域や社会に関わり、社会の一員としての実感がもてる機会をより多くつくりいきましょう。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組みをつかい、 「地域とともにある学校づくり」を推進中!! 学校・家庭・地域で鳥取の子どもを育てましょう!!

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)



コミュニティ・スクールとは
「学校運営協議会」を設置している学校のこと

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6】

- ・校長が作成する学校運営の**基本方針を承認する**
- ・**学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- ・**教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる

学校

地域

めざす子ども像の共有



地域学校協働活動



地域学校協働活動とは、**地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の活動**のこと

地域学校協働活動

- 協働活動** 地域人材育成、協働学習、協働防災訓練、学習・部活動支援、環境整備、登下校の見守り等
- 放課後等の学習支援** 放課後、土曜日、休日における学習、スポーツ活動等
- 体験活動** 社会奉仕活動体験、自然体験活動、職場体験等

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の
取組で広がる子どもの可能性は何？



たくさんの人との出会いにより、自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

より安心・安全な環境の中で、学習・生活ができるようになります。

多くの大人の専門性や地域の力を生かし、子どもたちの学びや体験活動が充実し、生きる力が育まれます。



地域住民との交流の中で、地域への理解・関心が高まります。

地域

ふるさとキャリア教育を推進します!!

地域への
愛着をもとう

体験的に学び、
自分にできることを
考えよう

ふるさとの
課題解決をめざして
行動しよう

ふるさとの誇りを持ち、
生き方を
確立しよう

幼稚園・認定こども園
保育所

小学校・義務教育学校
特別支援学校小学部

中学校・義務教育学校
特別支援学校中学部

高等学校・
特別支援学校高等部



身近な自然に親しむ



防災・安全マップづくり



地域で学ぶ職場体験



県内企業への
インターンシップ



鳥取県特別支援学校
技能検定の実施

乳幼児期から高校卒業までの取組をつなぎます

鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身に付けた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

いきいき生活リズム

～家庭での働きかけが
学力向上にもつながります～



生活リズムの改善！
まずは「早起き」から始めましょう。



スタート

朝起きたら、家族みんなで
元気に「おはよう」

つぎは「朝食」で脳を
目覚めさせましょう。

食事時間は楽しい時間！
朝ごはんをしっかり食べて
一日のエネルギーをチャージ！



睡眠の
リズムも
大切です。

テレビやゲーム機・
パソコンの明かりは
脳への刺激が強いため、
就寝する30分前には
終わらしましょう。

興味の変化、
何気ない言葉・態度、
視線を合わせられるか
など心にとめて
みましょう。

いってきます！ただいま！の声は
元気な心のバロメーター



時間を決めて、
おだやかな環境をととのえ
“おやすみなさい”

小学⇒高校と学校段階が上がるにつ
れて、何でもないのでイライラする
ことがあると答える割合が高くなって
います。

平日・休日で就寝時間が2時間以上ずれる傾向の
ある小学生は4割、中学生は6割近くなります。就寝
時間が規則的な人の方が、イライラも抑えられ、午
前中から授業に集中できるようです。



自立や心身の不調等(なんでもないのでイライラする)

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
小学生	8.7%	16.7%	26.6%							47.9%	
中学生	11.5%	23.0%		31.9%						33.7%	
高校生	14.1%	28.9%		32.6%						24.4%	

□よくある □ときどきある □あまりない □ない

就寝時間のずれとイライラの関係(中学生)
なんでもないのでイライラする

学校の時刻が2時間以上ずれる とはありますか。	0%	20%	40%	60%	80%	100%
よくある	21.9%	24.0%	27.2%	26.9%		
ときどきある	12.8%	26.4%	32.9%	27.9%		
あまりない	9.4%	22.9%	35.9%	31.8%		
ない	8.4%	19.4%	28.2%	43.9%		

□よくある □ときどきある □あまりない □ない

就寝時間のずれと授業中の眠気との関係(中学生)
学校がある日の午前中、授業中にもかかわらず
眠くて仕方がないことがあります。

次の日に学校がある日と 寝る時刻が2時間以上ずれる 日はありますか。	0%	20%	40%	60%	80%	100%
よくある	42.4%	32.4%	16.5%	8.7%		
ときどきある	23.1%	44.7%	22.4%	9.8%		
あまりない	16.2%	42.9%	28.6%	12.3%		
ない	13.7%	33.1%	29.6%	23.6%		

□よくある □ときどきある □あまりない □ない

●睡眠を中心とした子供の自立等との関係性に関する調査(対象小学5年から高校3年)(文部科学省 平成26年)

家庭学習のめやすは
小学校高学年【学年×10分+10分】
中学生【学年×1時間+1時間】

※各市町村・学校から示される時間も
参考にしましょう。

メディア使用のルールについて、
持たせる前に話し合い、持たせた
後も親の管理

「フィルタリング」
や「ウイルス対策」
で安全対策を
しましょう。

保護者の責任で「ペアレンタルコントロール」の
措置が必要です。

- ・インターネットを利用できる時間や場所を制限
- ・保護者の同意した機能のみネット利用が可能、等



家庭での様子についてチェックしてみましょう

生活

- 決まった時刻に起きていますか
- 朝食を食べていますか
- 決まった時刻に寝ていますか
- 気持ちのよいあいさつを交わしていますか
- テレビやゲームの時間のルールを話し合って決めていますか

その他にもチェックしましょう!

- 学校での出来事について話をしていますか
- 親が手本を示していますか
- お手伝いの習慣がついていますか
- 運動や遊びなど活動を一緒にしていますか
- 身近に本がありますか
- よい行いをほめていますか
- 愛情を言葉で伝えていきますか

学習

- 決まった時刻に学習を始めていますか
- 落ち着ける場所で学習をしていますか
- テレビや音楽を消して学習をしていますか
- 宿題以外の学習内容について、計画的に取り組んでいますか

子どもと一緒にチェックしましょう。

